

デスクトッププレゼンター

DT-50

取扱説明書

お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後、この取扱説明書は『保証書』と共に大切に保管してください。

使用上のご注意

この製品には、付属のACアダプター（5Z0325）をご使用ください。
他のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。
電源およびテレビ信号規格の異なる外国ではご使用になれません。
使用中に雷が鳴り始めたときは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変色、変形、故障の原因となることがあります。
湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：0 ～40 湿度：30～85%以下（結露しないこと）
本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。シンナーやベンジンなど揮発性のものを使用しないでください。
カメラレンズを直接太陽に向けないでください。撮影不能になることがあります。
ミニDIN9Pコネクタプラグ内の接点を金属等の異物で触れないでください。
テレビモニター等が接続されている場合、テレビモニター等が故障することがあります。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために - 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な注意内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。















は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「ACアダプターのプラグをコンセントから抜け」を示します。

安全上のご注意

⚠ 警告	
<p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。</p>	  注意 プラグを抜け
<p>万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	プラグを抜け 
<p>万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 (特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)</p>	プラグを抜け 
<p>画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターを抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>	プラグを抜け 
<p>万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	プラグを抜け 
<p>電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に、交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	プラグを抜け 
<p>機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。</p>	注意 
<p>機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	分解禁止 
<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p>	分解禁止 
<p>ACアダプターは表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>機器に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</p>	禁止 
<p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。 (コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。)</p>	禁止 
<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>	禁止 

安全上のご注意

⚠ 警告	
風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。	禁止 
ACアダプターのプラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、ACアダプターを抜き、ほこりをとってください。 絶縁低下により、火災の原因となります。	注意 

⚠ 注意	
移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、移動してください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	プラグを抜き 
お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。 感電の原因となることがあります。	プラグを抜き 
機器を長期間、ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。 火災の原因となることがあります。	プラグを抜き 
ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずACアダプター本体を持って抜いてください。	禁止 
キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止 
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
この機器に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	禁止 
電源コードを熱器具に近づけないでください。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
ぬれた手でACアダプター及び接続コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	禁止 

もくじ

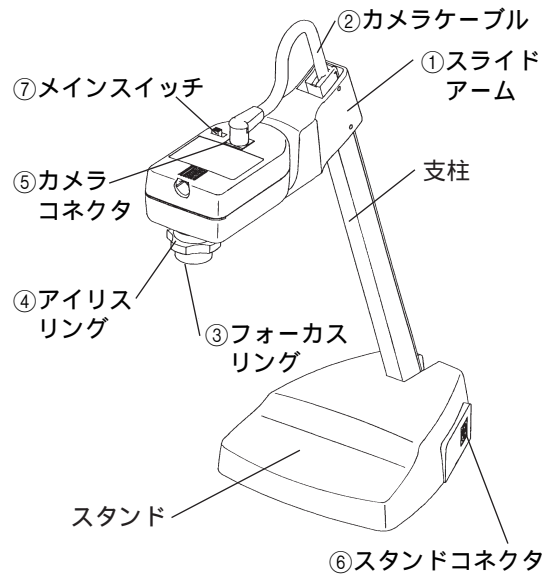
使用上のご注意	1
安全上のご注意	1
1 各部の名称と働き	5
1-1 外観	5
資料撮影時	5
手前側撮影時	5
接続ケーブル	5
2 操作準備	6
2-1 モニターとの接続	6
2-2 本体のセットアップ	6
3 操作手順	
資料撮影時の場合	7
手前側撮影時の場合	7
手持ちカメラとして使用する場合	7
4 故障かな？と思ったら	7
5 仕様	

1 各部の名称と働き

1-1 外観

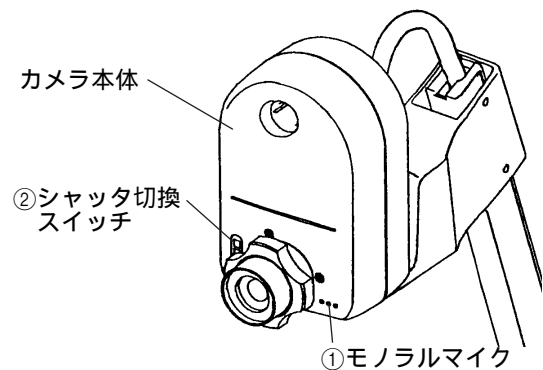
資料撮影時

	名称	働き
①	スライドアーム	上下にスライドして映像サイズを調整します。
②	カメラケーブル	カメラ本体に接続します。
③	フォーカスリング	回転させてピントを調整します。
④	アイリスリング	回転させてアイリス（絞り）を調整します。
⑤	カメラコネクタ	カメラケーブルのプラグを差し込み、接続します。
⑥	スタンドコネクタ	接続ケーブルのプラグを差し込み、接続します。
⑦	メインスイッチ	カメラが作動します。



手前側撮影時

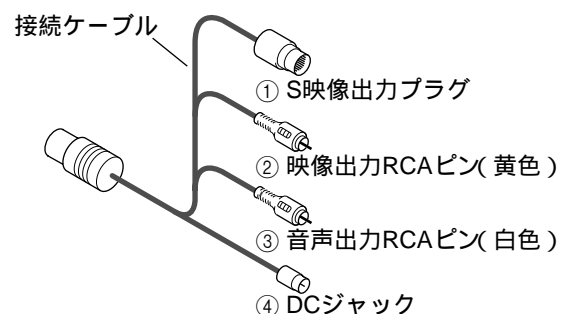
	名称	働き
①	モノラルマイク	接続ケーブルの音声出力RCAピン（白色）とモニターなどの音声入力端子を接続するとモノラルマイクとして使用できます。
②	シャッター切換スイッチ	シャッターの時間を設定します。



メモ 関東地方など電源が50Hzの地域では、スイッチの設定を [60] の表示例で使用すると蛍光灯・水銀灯など交流電灯の放電管の照明によるチラツキ（フリッカー現象）が出ることがあります。
シャッター切換スイッチを [50] の表示側に切換えてご使用になると、チラツキを軽減できる場合があります。
関西地方などの電源が60Hzの地域ではこのスイッチは [60] の表示側（出荷時設定）のまま使用します。

接続ケーブル

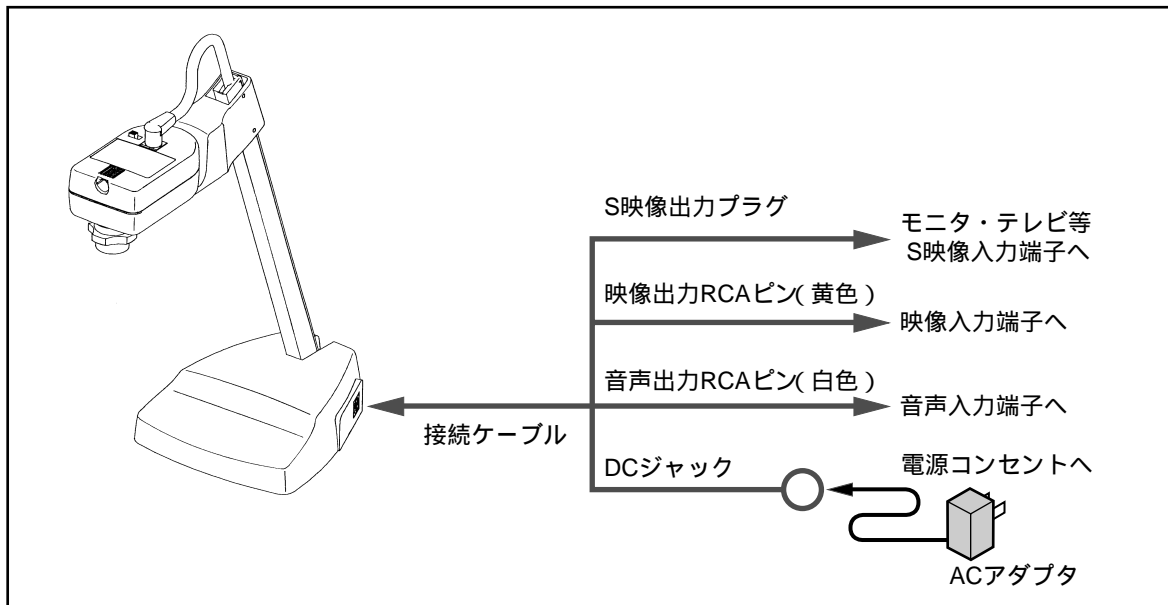
	名称	働き
①	S映像出力プラグ	モニターなどのS映像入力端子に接続します。
②	映像出力RCAピン（黄色）	モニターなどの映像（コンポジットビデオ）入力端子に接続します。
③	音声出力RCAピン（白色）	モニターなどの音声入力端子に接続します。
④	DCジャック	ACアダプターに接続します。



2 操作準備

2-1 モニターとの接続

本機は、接続ケーブルの各出力端子をモニターの入力端子に接続して使用します。



メモ コンポジットビデオとS映像とを同時に接続してもそれぞれに出力されます。

注意 接続ケーブルはプラグを持って接続してください。

2-2 本体のセットアップ

本機はセットアップとして組立てが必要です。

操作手順

- ① 支柱を起し、固定します。

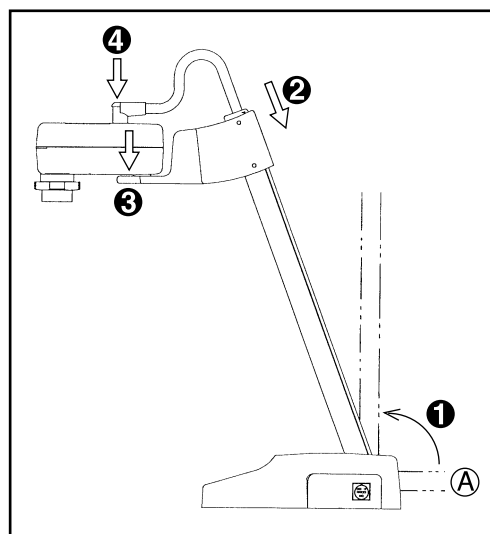
注意 ロックつめで固定しますので無理にもとの①の位置へ倒さないでください。

- ② スライドアームを支柱に差し込みます。

注意 ロックつめで固定しますので無理に引き抜かないでください。

- ③ カメラ本体をスライドアームに差し込みます。
(資料撮影時、手前側撮影時に応じて差し込んでください。)

- ④ カメラケーブルをカメラコネクタに接続します。

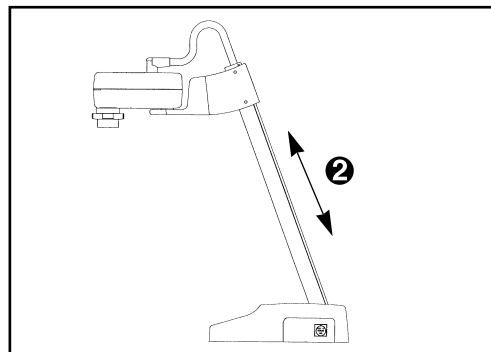


3 操作手順

資料撮影時の場合

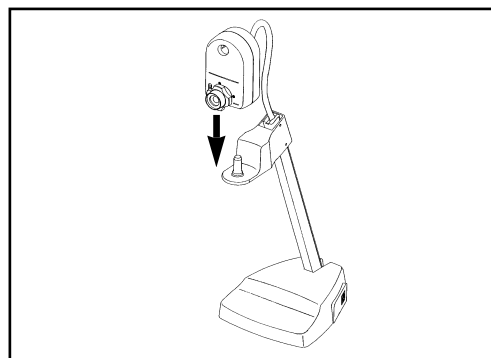
操作手順

- ① カメラ本体のレンズが下部を撮影する向きにスライドアームへ差し込みます。
- ② モニターなどの画面を見ながら、被写体に応じてスライドアームを上下させ画面のサイズを調整します。



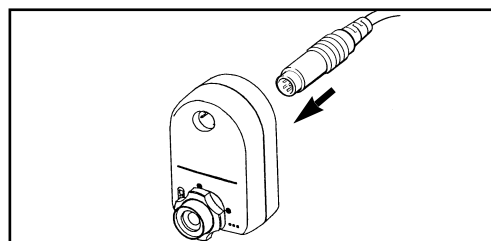
手前側撮影時の場合

カメラ本体のレンズが手前を撮影する向きにスライドアームへ差し込みます。



手持ちカメラとして使用する場合

カメラコネクタに接続ケーブルを差し込みます。



4 故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ 正しくビデオケーブルが接続されていますか。・ ACアダプターが壁側コンセントからはずれていませんか。・ ACアダプターの出力側プラグと接続ケーブルの電源受けプラグがしっかり差し込まれていますか。・ 撮影している資料が白い部分（または黒い部分）だけを見ていませんか。・ アイリスリングが絞りきり（全閉）になっていませんか。
印刷物の映像に縞模様がでる 画面にフリッカが出る	印刷物の網点とテレビの走査線の干渉縞ではありませんか。 50Hzで点灯している放電管の光が画面にはいつていませんか。 シャッターを [50] 側にすると軽減される場合があります。
ハウリングが起こる	カメラ本体をスピーカーから離すか、モノラルマイクの向きを変えてください。

以上のことをお調べの上、なお異常があるときは、お買い上げのお店か最寄りの弊社支店・営業所にご相談ください。

5 仕様

総合仕様

電源電圧	DC12V
消費電力	3.2W (DC12V時)
外寸法	幅：140mm 奥行：300mm 高さ：340mm
質量	0.8Kg

光学部仕様

撮影レンズ	F1.9, f = 4.3mm
撮影領域	最大 横：290mm 縦：217mm (Scan100%時)
焦点調節可能範囲	～ レンズ前面5cm
アイリス	手動

ビデオ部仕様

TV方式	NTSC方式準拠
撮像素子	インターライン転送1/3インチCCD
総画素数	水平811 垂直508 ...41万画素
有効画素数	水平768 垂直494
同期方式	内部
解像度	水平450TV本以上 (Y信号計測)
S/N	47dB以上
映像出力レベル	コンポジットビデオ VBS 1.0Vp-p / 75 不平衡 S映像 Y 0.714Vp-p / 75 不平衡 C 0.286Vp-p / 75 不平衡
電子シャッター	1 / 60s, 1 / 100s
ホワイトバランス	フルオート
出力端子	S映像出力 (ミニDIN 4Pコネクタ/75 不平衡) コンポジットビデオ出力 (RCAピン/75 不平衡) モノラル音声出力 (RCAピン/適合インピーダンス10K 以上, 0.5V)

附属品

ACアダプター	5Z0325 (定格入力 AC100V 50 / 60Hz)	×1
接続ケーブル		×1
取扱説明書		×1
保証書		×1

仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

ELMO 株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社営業所へ

本社	〒467 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 1 4 号	TEL (052)811-5131
東京本部	〒108 東京都港区三田 3 丁目 7 番 1 6 号	TEL (03)3453-6928
東京支店	〒108 東京都港区三田 3 丁目 7 番 1 6 号	TEL (03)3453-6471
大阪支店	〒540 大阪府中央区東高麗橋 2 番 4 号	TEL (06)942-3221
名古屋支店	〒467 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 1 4 号	TEL (052)824-1571
横浜営業所	〒240 横浜市保土ヶ谷区岩井町11番地 ダイアナプラザ保土ヶ谷4階411室	TEL (045)333-9142
九州営業所	〒812 福岡市博多区下川瑞町 1 0 番 1 0 号	TEL (092)281-4131
北海道営業所	〒001 札幌市北区北 1 2 条西 2 丁目 4 番地	TEL (011)717-7221
仙台営業所	〒980 仙台市中央 4 丁目 10 番 14 号 エノセーフビル 1 階	TEL (022)266-3255
広島営業所	〒730 広島市中区中町 8 番 12 号 広島グリーンビル 5 階	TEL (082)248-4800